

一応供覧	文書 分類	保存 年限	1 3 5 10 永	
議長 	局長 	書記 	主任	担当

令和 8 年 7 月 7 日

津南町議会議長 風巻光明 様

議席番号 5 番

議会議員 久保田 等



一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 8 年 7 月 22 日開会の第 2 回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、
津南町議会会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

記

質問事項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1) 渇水化対策について	報道では今年水不足により上郷原で 2 2 ha 田植えが出来なかったとのことでしたが、中子のため池の受益農家は 1 0 4 戸、耕作者は 8 5 戸（3 法人＋個人 8 2 戸）で実際は移植中止圃場は全体面積 8 6 ha 中 26. 7%に当たる 23. 1ha も有りました。 また、苗場山麓第二地区、大谷地ダムに於いては貯水量の急激な減少により、6 月 20 日から断水を行っており、7 月 6 日には断水解除になったがその後週 1 回の輪番制で何とか凌いでいる状況です。 基幹産業で有る農業・農家を守り育てていく為には渇水対策は必須です。 近年の水不足に対応する為の渇水対策をどう考えているか伺う。	町長
2) ふるさと納税増対策（企業版含む）	近年、ふるさと納税の制度改正やふるさと住民登録制度の実施等により、ふるさと納税を通じて地方創生に寄与する施策を展開するには、従来のふるさと納税のあり方か	町長



	らの方針転換が求められています。 令和7年度の寄付金額は5億7,366万円であつたが令和8年度の目標は2年続けて6億円という事です。現状維持でいい。何て他の自治体も見ても考えられません。 私は今の津南町の財政状況を見ても現状維持で満足は有り得ません。最低でも目標は10億円です。目標が低ければそれなりの対策・施策に成りがちです。 今、一番手っ取り早く稼ぐにはふるさと納税以外に考えられません。全国で津南町と同じ様な人口規模の自治体を見ても、地方創生を成功させている自治体はとにかくふるさと納税に力を入れ十数億円もの寄付を毎年集めています。 今回の津南町町長選挙戦に於かれまして、根津町長は津南への思いの最初の第一項目目に「規模に合った体力が有るまち」を掲げ、6つの政策の中に「ふるさと納税の拡大」を掲げているでは有りませんか。 ここであらためて、今年のふるさと納税の目標金額と達成するための施策を伺う。 又、企業版ふるさと納税も全国では毎年前年比1.3倍増で伸びていて令和6年度で630億円を超える勢いです。津南町の令和8年度の目標は僅か100万円です。もう少し他の自治体の様に真剣に取り組んで頂きたい。あらためて令和8年度の企業版ふるさと納税額の目標と達成する為の施策を伺う。	
--	--	--

3) ふるさと住民登録制度の受け入れ準備について	全国的な人口減少、少子高齢化により地域の持続性が脅かされている中、二地域住居等の促進を通じて地方への人の流れを創出・拡大する為、二地域住居等に於ける中長期的な課題の解決に向けた先導的な取り組みを支援し、その課題や効果・影響等を検証する事により、課題解決に資する対策や取り組みの実装を図る事を目的としてふるさと住民登録制度が開始する前に、国土交通省は令和8年5月29日まで[二地域居住先導的プロジェクト実装事業]の公募受付をしていました。 又、総務省の管轄になりますが、「ふるさと住民登録制度モデル事業」になりますが全国から161団体から応募があり、審査の結果7道県（城内募集37団体）と個別市町村21市町村が選ばれました。モデル自治体は全国自治体の取り組みの参考となる事例を創出すると共に、アプリの利便性等の実証を行うため、アプリの正式リリースに先立ち、関係人口施策への取り組み状況や人口規模に応じたモデル事業を実施します。 「ふるさと住民登録制度」が今年から開始されますが、その前に事前に先駆性を持って積極的に準備段階としてこの様なモデル事業に取り組んで頂きたかったと思います。 モデル事業で他の自治体よりも先に取り組	町長
---------------------------------	--	-----------

	んだ分費用面でも、事業面でも明らかに優位に働いたと思います。運用面では令和 9 年度までに参加する自治体は、システムの運用費を一定期間負担しなくて良いともされています。更に特別交付税処置も新設され、その他の取り組みにも事業費の上限が設けられていて早く参加するほどコスト面では有利になる設計とも言われています。今年度「ふるさと住民登録制度」の本格的運用が開始されますが、受け入れの準備や運用はどの様に考えているか伺う。	
--	---	--